

### 支部事務所窓口休業のお知らせ

## 6月15日(金)正午より

北ブロック書記局研修のため、正午より窓口業務休業となります。

# けんせつ 清瀬久留米

発行所  
 東京土建一般労働組合  
 清瀬久留米支部機関紙  
 〒203-0054 東久留米市中央町5-10-17  
 TEL 042-473-8751  
 FAX 042-473-8753  
 URL <http://www.tokyodoken.info/>  
 発行者 鈴木勝雄  
 編集者 角毅征

### 支部集団健康診断 開催のお知らせ

今年も支部集団健康診断を5月、6月と2回開催します。

5月20日(日) 東久留米第一小学校 (受付終了)

6月10日(日) 清瀬小学校体育館

組合員と家族の健康を守る東京土建の健康診断で、基本健診は無料になっています。(土建国保加入者のみ)

6月10日清瀬小学校で行う集団健康診断の申し込み締切日は5月31日(木)です。まだ申し込まれてない方は是非受診を検討していただき、締め切り前までにお申し込み下さい。

## 第83回三多摩メーデー 5000名を超える仲間が結集

### 青年部制作デコカー優秀賞受賞!!



メーデーデコレーションカーコンクール初受賞

井の頭公園西園において5月1日、三多摩メーデーが開催されました。あいにくの雨模様で時折激しく降る場面もありましたが、会場は雨に負けない熱気に包まれ、5000名を超える参加者(清瀬久留米支部48名)は「消費税増税を許すな」「TPP(環太平洋連携協定)参加反対」などの声があがりました。主催者あいさつに立った菅原一茂実行委員長は「日本経済が取り組むべきは雇用の安定、食の安全確保」

「LEVEL7(レベルセブン)」は原発事故の復旧にあたった7人の作業員を表現し、

「気付け今の現実を、築け未来の礎を」というメインスローガンを掲げ政府、その要求を掲げ政治を変え日本を動かそう」と呼びかけました。デモ行進では東久留米・清瀬地区を先頭に力強くシユプレヒコールを行いました。清瀬久留米支部青年部制作のデコレーションカーは無事終了しました。事務局 本島 厚司

### 消費税大増税ストップ これ以上の生活破壊は許せない

消費税大増税ストップ4・12国民大集会が日比谷野外音楽堂で5000人を超える参加で行われました。暑い晴天の下、オープニングは前進座の白波五人衆から始まり、東京音頭でにぎやかに。前進座の嵐圭史さんがあいさつで、「劇団員の中には年収200万円以下の仲間が多く、国の予算削減で文化が潰されようとしている」と訴えました。政党では日本共産党の志位和夫委員長があいさつに立ち、消費税増税には三つの害悪がある。①暮らしと経済をどん底に突き落とす



主婦の会制作こいのぼりメーデーに舞う



国民の生活を破壊する増税に反対デモ

②財政危機が更に深刻になる③社会保障と税の一体改革であたかも社会保障が良くなるよいうな宣伝は大ウソだ、と紹介しました。内需主導の財政政策を実施すること。そしてTPP参加を辞め、消費

また、同じく呼びかけ人の一人であるジャーナリストの斉藤貴男さんは、「野田政権が命をかけて増税するといっているが、どこの世界に命をかけて国民生活を第一、コンクリートから人へ、消費税は年間上げないと約束したのに裏切った」と怒りを込めました。その後、全労連議長の大黒作治さんの主催者あいさつ、参加団体のアピールと続き、集会アピールの提案と採択後、団結ガンパロウで締め括られました。集会後のパレードでは、国会に向かう怒りの長い列が延々と続きました。清里分会 鈴木 勝雄

### 三年越しの拡大成果 最後まで 拡大月間をやり抜こう

3年越しとなる加入が三葉分会でありました。毎年熱心に訪問し、対象者本人と土建国保や労災など対話する中で、毎回断られ続けました。一度断られた対象者をすぐに諦めがちですが、三葉分会はその後も熱心に訪問を繰り返したことで、土建

### 拡大成果表

分会名	春拡大目標数	成果	目標残数
元塩	4	1	3
松竹	2	0	2
清里	5	1	4
滝山	5	0	5
三葉	7	1	6
北浅	5	0	5
南町	2	0	2
青空	4	0	4
事業所 直属	23	14	9

成を目指しましょう。事務局長 山内 高広

# 快晴の下 分会で花見開催

桜満開の4月8日(日) 総勢50名ほどの仲間が、三分会で拡大決起お花見を開催しました。参加者は子供連れを含

め、総勢50名ほどの仲間が、三分会で集まり、心地よい春の季節を楽しみました。まだ取り組む意思統一を行って、分会



清里分会 満開の桜並木にて花見



白山公園にて花見 滝山分会

で準備した食べ物と、支部拡大出陣式の景品で、盛大にお花見をして、

## どけんを知っ得

滝山分会センターで4月22日(日)、10名の参加で学習会が行われました。



滝山分会では毎回、会計テキストと役員学習テキストを全員で読み合わせながら、学習し、議論し、深めていくスタイルで進めます。

長く役員をやっている方も改めて気付くこと、若い役員さんの疑問や悩みなど、様々な角度からの意見が出されました。息抜きの日食をばさんで、有意義な一日学習を行いました。

事務局 木田 恵

## 首都圏アスベスト訴訟

### 一日も早い解決に向けて

早朝7時30分、東久留米駅頭にてアスベスト被害の訴えを行いました。

その後、東京地裁へ移動。到着した時は、すでに歩道はアスベスト原告団や支援団体が大勢集合していました。

4年前の5月16日に提訴、長い道のりでした。この間、多くの仲間が闘い半ばに達しました。

午後3時から星陵会館へ移動し、結審集会が行われました。

集会の中で私は、巻田委員長の涙ながらに早期解決を求める切実な訴えが、とても印象に残っています。

アスベスト被害による闘いが一日も早く解決するよう、今後も皆の力を合わせ闘っていきましょう。

滝山分会 山岸 妙子



## 最近読んだ面白い本

「ニッポンのサイズ、身体ではかる尺貫法」

石川英輔著、講談社文庫

建築関係の仕事をしていれば、「帖」「坪」「尺」「寸」はお馴染みである。そして、同時に、それをメートルに直した「3・3㎡」「910」「30」などの数字も、面倒だなあと感じながらも馴れた数字だ。

単位は、特に「SI単位系」が言われ出してから

単位の根底にあったのは、自分たちの身体、日常、生きることと繰り返される生活。それらをどう合理的に捉え、素早く全体を把握するか、そこから生まれたのが、今は使えないことになっ

たの「尺貫法」。

10㎡≒6帖と言われるけど、10㎡と6帖は本質的に違う。「立つて半帖寝て一人前」の「帖」で表される広さは、そこで生活できる人の数でもあるのだ。米の生産高を示す「石」、田畑の広さを示す「町・反・畝」

**第35回住宅デーにご参加を**

開催日程: 6月3日(日)

東久留米市: 4会場  
滝山団地センター(滝山)  
東久留米市民プラザ前(三葉・南町・青年部)

清瀬市: 3会場  
清瀬市第3小学校(元塩)  
竹丘公園(松竹)  
中清戸けやき公園(清里)

スーパーマルエツ前(北浅)  
八幡団地東公園(青空)

第35回の節目を機に、私達の住む地域の「安心安全のまちづくり」をどう推進するかという目的を新たに加えて、無料住宅相談・まな板割り・包丁とぎ・その他子供も楽しめる多彩な企画で、地域における東京土建と建設職人の存在をアピールします。地域の皆さんに「住まいのことなら東京土建の組合員に」を印象づける絶好の機会です。今年も各地域7会場で行われます。ご家族も一緒に、大勢の参加で成功させましょう!!

**漢水**

今年は辰年。十二支の内、唯一想像上の生物である。竜(龍・ドラゴン)が頭に浮かんだ。東洋の細長く蛇似のフォルムの物、西洋の翼を持ち火や水を吐く物など、国によって違いはあれども、歴史・神話的にも恐れ崇められている。幸運の最高の象徴とも聞いた事がある。その存在は、他の

想像生物の追随を許さない程、高い地位を確立している伝説上の生物である。

かつては竜も実在の生物だったとの仮説もあるらしいが、にわかには信じがたい。地形が似ている我が日本国、竜の力を借りて多少なりとも景気回復と行きたいものだ。などといったラッラ考えるも、主婦である私は夕飯を「竜田揚げ」に決めた。

元塩分会 島田和江